

平成30年3月1日

保護者の皆様へ

宮城県立角田支援学校
校長 佐藤 文雄

平成29年度 学校評価アンケートについて

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました、平成29年度「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。年度末にあたり集計結果をお知らせいたします。この結果につきましては、今後の学校運営の参考とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

今年度のアンケートではすべての項目においてAとBの評価の合計が80%未満、CとDの評価の合計が25%以上の評価基準に該当するものではありませんでした。しかし、「(2) 目指す子ども像からー6」についてC評価が19%であることから、積極的に改善策を検討致しました。来年度は以下のような取り組みを更に深めてまいりたいと思います。今後とも学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<学校評価アンケート集計結果から>

(2) 目指す子ども像からー6について

学校では、毎朝の「おはようございます」、出会ったときの「こんにちは」、話しかけられたときの「はいわかりました」、職員室等に入出入りするときの「失礼します(しました)」、帰りの「さようなら」といった挨拶や返事は、日常の中で繰り返し指導されています。ただ、反復することで覚えていくということもあるのですが、若干マンネリ化もあり、子どもたちの中には照れくささと相まって、簡単にすましてしまう子もいるのが現実かと思えます。学校でもそうですので、ましてやご家庭ではなおさらかもしれません。大切なのは、子どもたちに、「挨拶や返事は、コミュニケーションを取ることや人間関係をつくることに大切なのだ」という意識を自然ともたせることだと思います。そして、その意識は各年代で着実に育まれています。今後、あるとき、自主的に率先して挨拶をする、そんな子どもたちの成長の姿を見ることは間違いありません。今まで通り、返事や挨拶の大切さを伝えていきましょう。学校としましても、単なる挨拶の指導に終わることなく、人とのつきあい方にまで広げ、地道に指導してまいります。

※なお、次項に学校評価アンケートの集計結果をのせてありますので、ご覧ください。

平成29年度 学校評価（保護者用）アンケート集計結果パーセント

以下のそれぞれの質問で、あてはまるもの一つを選び、A（そう思う）、B（大体そう思う） 提出率：91%
C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）、E（わからない）の記号を○で囲んでください。

(1) 本年度の努力目標から（教頭）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い	わからない
1	教師は、個別面談で確認したお子さんの「個別の指導目標」が達成できるよう、努力している。	58%	41%	1%	0%	0%

(2) 目指す子ども像から（教頭）

※本校では、「目指す子ども像」にどれくらい近づいているかを保護者に評価していただくことで、学校評価（私たち教職員の取組）の達成度の指標ととらえています。

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い	わからない
1	お子さんは、睡眠時間や1日3回の食事など生活リズムが安定している。（してきている。）	55%	28%	11%	6%	0%
2	お子さんは、あまり好き嫌いせず食事をするようになってきている。	55%	36%	9%	0%	0%
3	お子さんは、嫌なことでも頑張って取り組む様子が見られるようになってきている。	43%	49%	8%	0%	0%
4	お子さんは、日常生活において、食事や着替え等、一人のできる事が以前より増えてきている。	56%	32%	10%	2%	0%
5	お子さんは、起きる時間や寝る時間などの基本的な生活習慣が定着し、徐々にではあるがリズムある生活がつくられつつある。	56%	30%	12%	1%	1%
6	お子さんは、以前より、返事や挨拶ができるようになってきている。	41%	39%	19%	0%	1%
7	お子さんは、友達や教師と一緒に楽しく活動している。	55%	38%	6%	1%	0%
8	お子さんは、喜んで登校している。	57%	36%	4%	2%	1%
9	お子さんは、行事や学習などを楽しみにし、喜んで参加している。	50%	36%	9%	3%	2%
10	お子さんは与えられた役割を、大人と一緒に（または一人で）取り組むことができるようになってきている。	37%	56%	5%	1%	1%
11	お子さんは、音楽や読書など自ら好きなことを見付け、生活を楽しむ姿が増えてきている。	35%	50%	11%	2%	2%

(3) その他 (各部・担当)

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い	わからない
1	個別面談では、担任との十分な話し合いが行われている。 (教務部)	56%	41%	3%	0%	0%
2	個別の教育支援計画は、学校の教育活動における指導や支援、 支援会議やサービス利用の際に役だっている。 (支援部)	48%	43%	7%	2%	0%
3	学習の様子や学校のことをお便りや連絡帳等で随時知らせて いる。 (教務部)	59%	34%	7%	0%	0%
4	就学奨励費の支給事務手続きや学校徴収金の納付手続等につ いて、分かりやすく行われている。 (事務部)	54%	42%	4%	0%	0%
5	スクールバスの運行は、安全に行われている。 (山野井T)	70%	28%	0%	0%	2%
6	職員は、保護者への対応を丁寧に行っている。 (教頭)	65%	29%	5%	1%	0%
7	全ての児童、生徒、保護者及び教職員からいじめに関するア ンケートを取るなど、いじめの早期発見に努めている。 (指導部)	63%	33%	2%	0%	2%

キリトリ線

(4) [自由記述欄] ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

() 学部 氏名 ()

(※保護者のご意見やご要望に対して迅速かつ丁寧に対応するために、お名前を記入していただいております。
封筒に入れてご提出をお願いします。)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

平成29年度 学校評価（職員用）アンケート集計結果と考察

教職員提出率：100%

(1) 教育目標・学校運営（教頭）

		そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1	児童生徒の実態を踏まえた教育目標を設定している。	55%	45%	0%	0%
2	教育目標の具体化のための取組がなされている。	51%	49%	0%	0%
3	保護者に教育目標の周知を図っている。	32%	68%	0%	0%
4	教育目標を具体化するために、校長の経営方針の下、職員の共通理解が図られている。	48%	52%	0%	0%

(2) 教育課程・教育計画（教務部）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1	児童生徒の障害の状態や特性に応じて教育課程を編成している。	52%	46%	2%	0%
2	学校行事は、職員の共通理解の下、組織的な運営が行われている。	54%	46%	0%	0%
3	学校行事は、反省を次年度の計画・実施に生かすようにしている。	57%	43%	0%	0%
4	教育課程は、自立と社会参加を目指したものになっている。	42%	57%	1%	0%
5	担任している児童生徒が個別の目標（指導内容）を達成した。	12%	82%	6%	0%
6	児童生徒一人一人の実態と新学習指導要領の内容を踏まえた、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成している。	39%	60%	1%	0%
7	小・中・高等部の系統性及び発展性を考慮した指導計画を作成している。	23%	71%	6%	0%
8	教育活動全体を通して、自立する姿を見据えた志教育の実践に努めている。	29%	69%	2%	0%

(3) 教育活動（教務部）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1	個別の指導計画は日々の学習活動に活用されている。	45%	55%	0%	0%
2	児童生徒が意欲的に学習へ取り組めるように工夫している。	49%	51%	0%	0%
3	教育活動を推進するに当たり、児童生徒の障害の状態を把握し	46%	54%	0%	0%

	ている				
		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
4	一人一人の教育的ニーズに応じて、指導内容や指導方法を設定している。	45%	55%	0%	0%
5	T-T方式による指導の良さを生かしながら指導に当たっている。	54%	45%	1%	0%
6	その都度話し合いを重ねるなど、授業や指導の改善を図っている。	52%	48%	0%	0%
7	地域の人々とのふれあいや他校又は白石校の児童生徒との交流及び共同学習を通して、集団活動へ参加しようとする態度を育成している。	29%	68%	3%	0%

(4) 進路指導（進路指導部）

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	児童生徒の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた進路指導が行われている。	39%	61%	0%	0%
2	進路指導担当者と学級担任が連携しながら対応できる体制になっている。	45%	55%	0%	0%
3	進路指導に関わる連絡や情報提供（進路だより、進路の手引き等）がなされている。	48%	52%	0%	0%
4	進路相談等を通して家庭との連携が図られている。	47%	53%	0%	0%

(5) 生徒指導・特別活動（指導部）

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	月別生活目標や長期休業中の生活の決まり等を設定し、共通理解の下指導に当たっている。	37%	63%	0%	0%
2	不審者対策や防犯用具等が整備されている。	55%	45%	0%	0%
3	児童生徒の安全のため、関係諸機関との連絡・連携を定期的に行いながら防犯指導に努めている。	57%	43%	0%	0%
4	交流集会や感謝の会等を通して、児童生徒相互の交流や感謝の態度の育成に努めている。	59%	41%	0%	0%
5	バスマナー教室やバス乗車指導を行い、児童生徒がマナーを守り安全にバスを利用するための指導に努めている。	66%	34%	0%	0%
6	全ての児童、生徒、保護者及び教職員からいじめに関するアンケートを取るなど、いじめの早期発見に努めている。	68%	32%	0%	0%

(6) 保健・安全・給食指導（保健安全部）

		そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	学校生活・定期健康診断等を通して、一人一人の健康目標に応じた健康作りの指導がなされている。	66%	34%	0%	0%
2	健康な生活や習慣の形成を目指して、家庭との連携が図られている。	54%	46%	0%	0%

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
3	児童生徒の実態に即して意図的、計画的に給食指導がなされている。	48%	52%	0%	0%
4	給食指導を推進するに当たり、面談で「給食指導に関わる確認書」を取り交わして、家庭との連携を図っている。	68%	32%	0%	0%
5	清掃指導など環境美化に関する指導が常時行われている。	43%	57%	0%	0%
6	児童生徒の安心・安全な生活を目指して、常時、全職員による安全点検を行い異常箇所の早期対応に努めている。	49%	51%	0%	0%
7	安全教室や防災訓練など、より実際に向けた学習活動を計画し、実施している。	65%	35%	0%	0%
8	校内における緊急時の対応（緊急対応マニュアル）を整備するとともに、校内研修を実施し、安全強化を図っている。	68%	30%	2%	0%

(7) 情報教育（情報教育部）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
1	授業の情報機器（パソコンなど）や視聴覚機器・と図書教材が積極的に活用されている。	31%	62%	7%	0%
2	情報セキュリティ意識の向上に努め、情報セキュリティポリシーを遵守している。	57%	43%	0%	0%
3	充実した活動を支援するために必要な機器や環境の整備が図られている。	24%	68%	8%	0%

(8) 研修・研究（研究部）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
1	検査法研修会の実施は、個別の指導計画及び日々の指導に役立っている。	43%	55%	2%	0%
2	OJTの手法を取り入れた一人一事例研究の実施は、教員としての力量を高める機会となっている。	45%	55%	0%	0%
3	研究に必要な図書の整備や情報の提供に努めている。	43%	57%	0%	0%
4	研究部便りの発行や、校内研修の計画・実施に取り組み職員の研修意欲の維持・向上を図っている。	59%	41%	0%	0%

(9) 事務（事務部）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わな い
1	会計処理について、共通理解が十分になされている。	42%	58%	0%	0%
2	事務手続きや会計処理は、明瞭、迅速、正確に行われている。	54%	46%	0%	0%

(10) 校内及び地域への支援（支援部）

		そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1	個別の教育支援計画は、実際の指導・支援及び支援会議、サービスの利用等に役立っている。	46%	54%	0%	0%
2	特別支援教育の専門性を高めるための研修の実施や必要な情報の提供、相談・支援等が適宜行われている。	52%	48%	0%	0%
3	地域に向けた取り組み（かくよう講座、作品の公開）や居住地校学習が、組織的、計画的、継続的に行われている。	63%	37%	0%	0%
4	地域のセンター的機能の充実～圏域市町の幼稚園・保育所及び学校からの相談に対応して特別支援教育の理解を促すとともに、児童生徒等への支援体制が整うように努めている。	55%	45%	0%	0%
5	地域のセンター的機能の充実～圏域市町の関係機関（教育委員会や保健課等）、及び、他の特別支援学校等との連携強化に努めている。	46%	54%	0%	0%

(11) 施設・設備、教材（事務部）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1	教育（学習）環境の面で、施設・設備が安全に配慮され、整備されている。	34%	65%	1%	0%
2	教育（学習）環境の面で、教材・教具を有効に活用できるよう整備されている。	37%	63%	0%	0%
3	施設・設備の整備について、共通理解の上に進められている。	40%	60%	0%	0%

(12) 家庭・地域との連携（教頭）

		そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1	保護者への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	68%	32%	0%	0%
2	施設開放、公開講座、授業公開、学校見学会等、開かれた学校づくりを推進している。	57%	43%	0%	0%
3	スクールバスが安全に運行されるよう、大地震時のスクールバス待避所のマップ化や、関係者との連絡強化に努めている。	77%	23%	0%	0%
4	児童生徒の緊急時にすぐに対応できる体制やマニュアルを、いつでも活用できる状態にしている。	48%	52%	0%	0%

(13) 【自由記述欄】 ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

<結果の考察>

学校評価（職員用）アンケートの集計結果では全ての項目において改善案作成の基準に該当するものはなかった。

平成29年度 学校関係者評価について

1 学校関係者評価委員会（平成30年2月5日（月）実施）

学校評価の結果及び改善案について提示し、それについて評価委員からご意見を頂いた。頂いた意見は以下のとおりである。

○学校関係者評価委員

- ・学識経験者（2名）
- ・社会教育団体関係者（1名）
- ・保護者（2名） 計5名

2 委員からの意見

※（ゴシック）：質問に対する答え

学校評価（職員用）に関して

- （12）—3～スクールバスの安全運行について：連絡強化を図る「関係者」とは誰ですか？（警察やバス会社等関係する諸機関を指しています。また引き渡し訓練等では保護者の理解と協力を得て行っています。）

学校評価（職員用）の自由記述に関して

- 緊急一斉メールについて：全員が登録していない様々な理由とは何ですか？（家庭によってはメールでの配信は困るという家庭もありそれぞれ個別に配慮して連絡しています。）
- 家庭訪問について：家庭訪問をした方がよいのではないかと。という意図があったのではないかと。（これまで家庭訪問を行ってこなかった理由としては通学範囲が広範囲にわたり時間設定が難しかったことが挙げられます。そこで家庭訪問が必要な児童生徒については随時、個別に家庭訪問をして対応しています。）

その他に関して

- 資料10ページ3の「社会福祉協議会」とは、具体的にどのような連携をとったのですか？（プール教室のボランティアの要請等です。）
- 成人を祝う会が同窓会の中に組み込まれましたが、もう少し盛大は形にしてはどうですか？（次回は、もう少し内容を検討したいと考えます。）
- 気楽な会で30歳を祝う会をやっていたと思いますが、どうなりましたか？（役員の方々が高齢化して役員のなりてがいなくなり継続が難しくなりました。）
- 修学旅行等で遠出する際には、言葉で意思表示ができない児童生徒などが全体からはぐれてしまった時にどのようにするのか何らかの手立てを検討していただきたい。（そのような事態を招かないように、適切な教員配置と万全な引率体制を構築します。）
- 言葉で伝えることが難しい生徒については身分証明の方法など、保護者に確認していただき見える部分にカードなどを付けてもいいのでは？（今後は保護者に確認してヘルプカード等の活用を考えたいと思います。）

全体を通して

3 評議員からの助言

- 小・中学部から高等部へ進学した生徒と，外部の中学校から来た生徒では能力に開きがあり指導することが難しい面があるかと思えます。白石校は少人数の利点を生かして指導されているのだと思えます。
- いじめの早期発見，安全強化について考えていってほしい。挨拶等の励行は大人の世界でもあることであり障害の有無にかかわらず，今後も継続して指導していってほしい。
- 小・中，高等部の系統性については，今後も連携を密に行ってほしい。また，複雑化している高校への支援についても継続して行ってほしい。
- 色々な作品展への出品は，支援学校の啓発という点からも続けてほしい。
- 虐待については，家庭の様子等に注意して子どもたちを見ていってほしい。
- 県就学指導審議会に出ていますが，今年度は審議が0件でした。早期巡回相談などが功を奏しているおかげだと感じます。コーディネーターの先生方が力を尽くしているからだと感じます。
- 保護者による虐待に対応するため，緊急時に保護者から離すための拠点整備が近々行われます。高等部を出た後は，児相とのつながりが切れるために，心配な家庭については関係機関に継続して情報を流すシステムを検討していただけたらと思えます。
- 校長先生のリーダーシップのもと綱紀粛正を図ってほしい。保護者についても，学校で研修会を開くことなどやってみてはどうだろうか。

4 意見に対する対応

- 項目により難易はあるが，平成29年度中に検討し，改善に向けて前向きに取り組む。